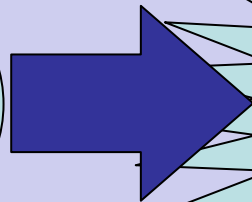


在宅医療業務増加の背景

人口の高齢化に伴い、
介護を要する者が急速に増加

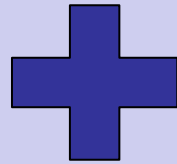


在宅医療の
需要が高まっている

そこで当社では、**訪問服薬指導**による
地域医療への**貢献**に力を入れている。



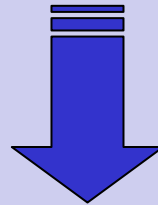
薬学部6年制移行に伴い、
薬剤師が不足している。



介護施設からの処方せんは内容が複雑
(ex: 他科受診、粉碎、ヒート貼り付け等)

外来業務とは異なる内容の業務が
多いため、煩雑になっている

こうした背景から、**医療事務**による**薬剤師のサポート**は重要な業務となっている。



業務上煩雑になりがちな部分や、
確認事項を整理するために、
医療事務が行っている**実際の取り組み**
3種類について今回紹介する。

取り組み①保険証期限一覧作成

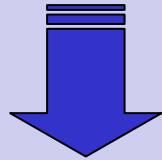
問題点

- ・介護施設の処方外来と異なり、その都度**保険証の確認**が行えない。
- ・**期限切れ**や**要介護状態の変更**等による返戻が後を絶たない。



取り組み①保険証期限一覧作成

原因として…



- ・ご家族や代理人が保険証の管理をしている為
保険証の変更や更新があってもすぐに施設に届かない。
- ・介護施設側でも細かく期限を管理していない
場合もあり、家族への確認や連絡まで手が
行き届かない。

取り組み①保険証期限一覧作成

そこで、早めに介護施設側へ確認できる
よう**保険証期限一覧**を作成した。

☆☆ 保険証期限一覧 ☆☆

【施設名】

〇〇ホーム

8/19更新

部屋	氏名	介護	介護区分	医保	公費	注意事項
101	クリエイト 太郎 様	H24.2.29	介護4	生保	0割	
102		H24.8.31	介護2	H24.3.31	1割	
103		H24.5.31	介護4	H24.7.31	1割	
104		H24.1.31	介護1	H24.7.31	1割	
105		H24.2.29	介護2	生保	0割	
106		H24.4.30	介護4	H24.7.31	1割	
107		H23.7.31	介護2	H24.7.31	1割	
108		H24.7.31	介護3	H24.7.31	1割	
109		H23.8.31	介護1	H24.7.31	1割	
201		H24.5.31	介護5	H24.7.31	3割	
202		H23.8.31	介護3	H24.7.31	1割	
203		H24.11.30	介護5	H24.7.31	1割 (0割)	H24.8.31 障害の負担なし
204		H24.1.31	介護1	H24.7.31	1割	
205		H23.9.30	介護4	H24.7.31	1割	
206		H24.3.31	介護5	H24.7.31	3割	
207		H24.5.31	介護2	H24.7.31	1割	
208		H24.11.30	介護3	H24.7.31	1割	
209		H24.9.30	介護4	H24.7.31	1割	現金払い
301		H24.12.31	介護2	H24.7.31	1割	
302		H24.11.30	介護5	H23.9.30	3割 (1割)	H23.10.31 21自立支援 上限2500円
303		H24.3.31	介護3	生保	0割	
304		H25.6.30	介護3	H24.7.31	1割	
305		H23.9.30	介護2	生保	0割	
306		H23.12.31	介護4	H24.7.31	1割	
307		H24.1.31	介護2	H24.7.31	1割	
308		H24.10.31	介護2	H24.7.31	1割	
309		H23.9.30	介護3	H24.7.31	3割	

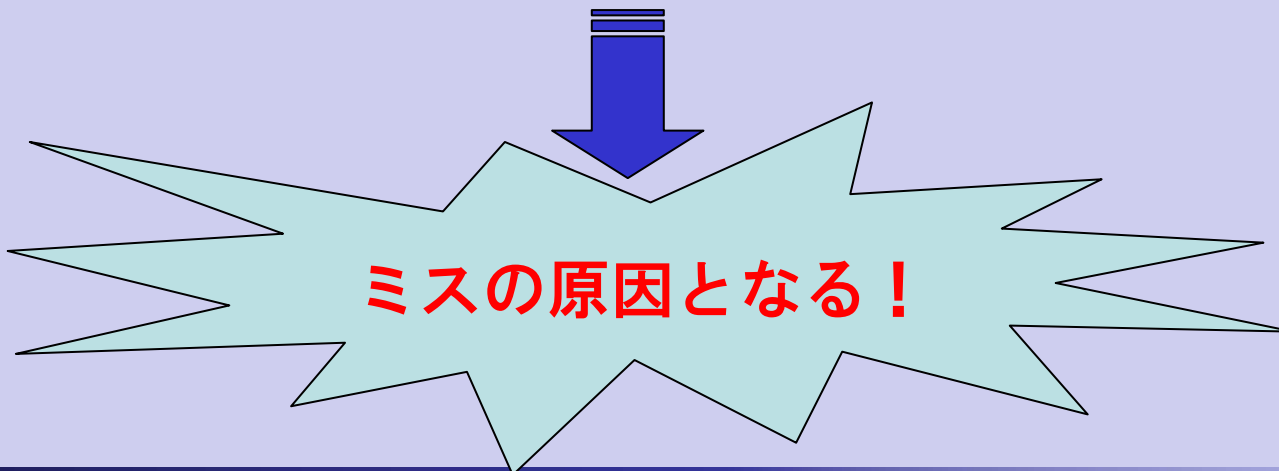
名前、保険証の期限などが
一覧になっているため
「誰が、いつ」期限が切れる
のか一目でわかる。

取り組み②服用開始一覧作成

問題点

- 他科受診の入居者が多く、処方内容が複雑
- 薬剤師が一人で調剤から医薬品のセット行う
⇒効率が悪くミスも起こりやすい
- 別包指示や、ヒート貼り付け等

注意事項が多く煩雑になってしまう。



取り組み②服用開始一覧作成

そこで複雑な処方せんを一元管理するためのツールとして**服用開始日一覧**を作成した。

〇● 入居者様服用時点一覧 ●〇

【施設名】

【階】

注意事項	部屋手帳	氏名	管理	セット終了日(前回分)	セット終了日	施設セット	セット確認	セット終了日
mの変更時のみ薬情手渡し ヒート	412	■■■■	自					
mの変更時のみ薬情手渡し ヒート	412	■■■■	自					
芍甘湯は薬局残より分1夕貼り付け マグラックスPTP貼付	603 0	■■■■						
マグラックスヒート ニトTTS→就寝前	605 0	■■■■	自					
ブルゼニドはシート貼付	606	■■■■ (2科貼)		5/5	5/5			
2科 井上記念 ラックビー1×朝 貼り付け				5/15				

患者ごとに**調剤の際の注意、**
病院ごとの日付などが
一覧になっている。

取り組み②服用開始一覧作成

さらに、**セットミスを防ぎ業務効率を向上**させるため医療事務が薬剤師に同行し、介護施設での医薬品セットの確認を一緒に行うことにした。

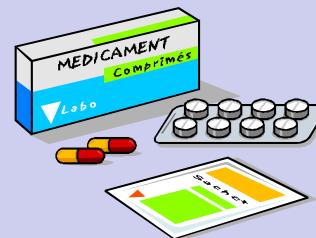


確認を2人で行うことにより、医薬品セットの精度も上がり、時間を短縮することができる。

取り組み③チェックシート作成

背景

- 介護の処方せんは複雑な処方内容の場合が多く、コンプライアンス向上のため一包化はもちろんのこと、服用回数を調整するためにヒートのまま分包紙に貼り付けたり、持参薬の調整を行うなど、**入居者ごと**のオーダーメイド医療を提供している。



取り組み③チェックシート作成

それに伴い必然的に 薬剤師の**確認事項**が増える

- ・一包化された錠数確認
- ・別包指示のある錠剤の確認
- ・ヒート貼り付け指示
- ・服用開始日
- ・分包貼り付けの用法確認
- など…

服用日記入
+
名前記入・確認



一包化
+
ヒート貼り付け
+
分包貼り付け

取り組み③チェックシート作成

そこで各過程での確認事項を視覚的に把握できる
チェック項目をまとめた**チェックシート**を作成した。

鑑査チェック表	ODPチェック表
<input type="checkbox"/> 氏名(<input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> 開始日付(カレンダー 日 実際 日) <input type="checkbox"/> 用法 <input type="checkbox"/> ODP中錠数 <input type="checkbox"/> 空シート薬品名 <input type="checkbox"/> 空シート錠数 <input type="checkbox"/> ヒート、分包品(薬品名・規格・数量) <input type="checkbox"/> 外用薬(薬品名・規格・数量)	【分包前】 <input type="checkbox"/> 薬剤照合(ヒート状態) 【分包後】 <input type="checkbox"/> 氏名() <input type="checkbox"/> 開始日付(カレンダー 日 実際 日) <input type="checkbox"/> 用法(朝食後、海岸: ■朝食前 等) <input type="checkbox"/> 分包日数 <input type="checkbox"/> ODP中錠数 <input type="checkbox"/> 異物混入(シート等)
鑑査者 _____	調剤者 _____
貼付チェック表	
【貼付前】 <input type="checkbox"/> 氏名() <input type="checkbox"/> 用法() <input type="checkbox"/> 貼付方法(○をつける) (テープ ・ ホチキス ・ ヒート) 【貼付後】 【鑑査】 <input type="checkbox"/> 氏名照合 <input type="checkbox"/> 氏名照合 <input type="checkbox"/> 用法照合 <input type="checkbox"/> 用法照合 <input type="checkbox"/> 薬品名照合 <input type="checkbox"/> 薬品名照合	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">◆入力チェックシート◆</p> <p>患者氏名(一文字一文字確認) <input type="checkbox"/></p> <p>→新患、名前変更時のみ *月初(介)入力</p> <p>負担割合 割 処方日 日</p> <p>医師名(一文字一文字確認) <input type="checkbox"/></p> <p>一包化 する・しない 加算 日分</p> <p>GE変更 可・不可 サイズ:</p> </div>
調剤者 _____	
鑑査者 _____	

チェックすべき項目を
各過程ごとにまとめる
ことで、調剤者・鑑査者
共にもれなくチェックする
ことができる。

結果

薬剤師からの声

「業務効率が向上したため、空いた時間を服薬指導などにまわすことができるようになり、時間を有効活用できた。」

施設職員からの声

「医薬品の管理に関して、薬局のスタッフ全体が携わってくれた方が安心できる。薬剤師だけでなく、医療事務も薬品についてある程度把握していると、有事の際に連絡しやすいため助かっている。」

上記のような有益と評価されていることが明らかになった。

さらに、現場に行くことにより自分の業務に対する
責任感を自覚できた



- ・職域領域を広げる可能性が見出せた
- ・業務上の問題点や改善点が見えてくるため、問題点を改善でき、さらに効率があがる。



結果・・・

入居者が安心して医薬品を服用できる
環境づくりのサポートが出来る。

考察と今後の展望

以上の取り組みにより、**薬局全体の業務効率の向上や医療事務の職務領域を拡大できるが...**

- ・チェックシート運用の際の手間
 - ・服用開始日一覧表が店舗ごと、施設ごとにフォーマットが異なっている
- などの、改善の余地がある。

今後も積極的に訪問服薬指導業務に携わり、ミスを防ぎ、効率よく業務を行える取り組みを考え、改善していきたい。